事例No.	2014
公表年度	R4
団体の属性	複数団体
団体名	兵庫県・兵庫県神戸市

事例区分	DX

タグ	・新たな政策手法の確立・活用 ・（行政改革）業務の効率化 ・ICT

事例種類	住民生活

事例内容・タイトル

あらゆる分野でのドローンの利活用の可能性を探究

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

34 あらゆる分野でのドローンの利活用の可能性を探究【兵庫県・兵庫県神戸市】

事業の概要

○ 兵庫県は、神戸市や公益財団法人新産業創造研究機構と連携し、ドローンの先行的利活用についての企画提案を公募した。

○ 次世代産業の創出、県民の更なる安全安心な暮らし、行政サービスの向上・業務効率化の実現を目指し、多様な分野でのドローンの利活用効果を示すことで、県内企業を中心に民間分野でのドローンの利活用の促進を目的としている。

○ 近年は、災害時やハチの巣駆除へのドローンの活用、ドローン遠隔操作での観光促進等をテーマに実証を行い、実装に向け取り組んでいる。



ドローン遠隔操作での観光



ハチの巣駆除への活用

【参考情報①】 人口：552.4万人（兵庫県）、152.6万人（神戸市）
関連URL：https://drone-hyogo.jp/
https://www.niro.or.jp/coordinate/2021drone-archive/

【参考情報②】地方創生推進交付金（内閣府）とは
URL：https://www.chisou.go.jp/tiiki/tiikisaisei/souseikoufukin.html

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



本取組は、当時県内では高度な利活用が進んでいなかったドローン技術について、県や神戸市といった行政が先行的に活用を進め、その成果・課題を発信することで、県内でのドローン活用を促進していくことを目的に開始しました。

（兵庫県・兵庫県神戸市）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



実証実験の費用及び成果・課題の普及啓発のための費用は、内閣府の地方創生推進交付金（令和元年度から3年間）を活用しました。



事業の近況を教えてください。



令和４年度からは、前年度までの成果・課題を生かし、社会的課題解決のためにドローンを活用した実証実験を支援し、ドローンの社会実装に向け取組を進めています。

また、ドローンの活用における全国の自治体間の連携強化のため、本年9月に第１回ドローンサミットが内閣官房小型無人機等対策推進室と兵庫県の主催で開催されます。

★担当：兵庫県産業労働部 新産業課★

令和3年度事業費　77,989千円
（うち、地方創生推進交付金（内閣府）　28,517千円）